

2006年1月20日

八幡事業所 Tel. Fax 672-7595  
sawayaka@eagle.ocn.ne.jp  
小倉事業所 Tel. Fax 571-2299  
sawayakakokura@violin.ocn.ne.jp



# さわやか

第108号

発行者  
特定非営利活動法人  
通院介護センター  
さわやか

## 新春を寿ぎ

## 新年の御祝詞を

## 申し上げます



特定非営利活動法人

通院介護センター「さわやか」

理事長 山田 浩美

昨年は、ガイドラインが、机上に乗り、四月一日に間に合うよう様々な事務手続きや、書類の提出などがあり、ボランティアの皆様をはじめ、多くの方々に、大変ご迷惑をおかけしたことを、新年にあたり、お詫び申し上げます。

今年は、三位一体改革を中心に、「改革」の嵐が押し寄せてきています。年末には、障害者自立支援法が国会を通過しました。四月には、診療報酬の改正も行われる予定です。年金・医療費・税金も改正されます。

激しく揺れ動く情勢のなかで、「さわやか」も、前進しなければなりません。四月一日から、実施される、「福祉有償運送」は、国の制度として、正式に発足します。国の「福祉有償運送」の規定に合わない事業所は、送迎が出来なくなります。「さわやか」では、北九州市の運営協議会の指導に従い、今まで通り、透析患者と難病患者の送迎に全力を尽くす所存です。皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

今年も、皆様にとりまして、幸多き、良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

## 新年を迎えて

副理事長

梶原 待子



昨年は激動の一年だったと思います。暗いニュースが多い中「さわやか」も理事長の交代や今年の四月から始まる「福祉有償運送」における準備などで大変忙しい日々でした。ボランティアの皆様方の協力には感謝申し上げます。さて、今年は「さらなる発展」を目標に掲げて丸十年を迎える事となりました。年を増すごとにいろいろな方々ともお会い、皆様のおかげで、この十年を歩んでこられたと思います。今年も一生に一度の出会いを大切にしていきたいと思っております。

今の世の中大変著しい環境の変化の中でも「さわやか」は常にマイペースで進んで行く事と思っております。

四月一日から発足する「福祉有償運送」については「さわやか」の運行マニュアルも徐々に確立しつつあります。

今後は事務局一丸となり難病患者さんや透析患者さんの為に全力を尽くすことをお願いいたします。

今後皆様のご支援・ご協

力を宜しくお願い致します。今年もよろしくお願い致します。

あけましておめでとうございます

小倉事業所

寄友 絹枝

（一年の計は、元旦にあり）といいますが、毎年思うことは、また一つ年を取ること、またお正月が迎えられたとの感謝の思いです。

周りのすべてがかかわる人々に支えられ大切な一年一年です。今年も、私に役に立てることを、皆様に支えてもらいたい、ゆっくりと頑張っていきたいと思っております。

八幡事業所

高原 由美

今年の四月より、「福祉有償運送」が始まります。

「さわやか」も十年を迎え、また新しい第一歩を歩もうとしています。私も微力ながら、山田理事長を支え頑張っております。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。





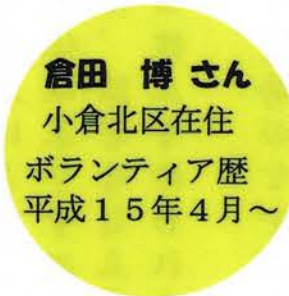
**徳永 定嗣 さん**  
小倉北区在住  
ボランティア歴  
平成8年10月～



**永淵 寛 さん**  
小倉南区在住  
ボランティア歴  
平成10年～



**小倉 邦子 さん**  
小倉南区在住  
ボランティア歴  
平成17年11月～



**倉田 博 さん**  
小倉北区在住  
ボランティア歴  
平成15年4月～



## 第2回 「さわやか」座談会 ～透析が少し理解できた！～



十二月十五日(木) 十時より小倉第一病院六階の多目的ホールで二回目のミニ座談会を開きました。朝から寒の降る寒い日でしたが、小倉地区のボランティアさん四名と山田浩美理事長、事務局二名の七名という顔の見える座談会になりました。

各ボランティアさんもお互いに初めての方ばかりで最初は緊張の様子でした。まず、山田理事長、事務局員に続き、各ボランティアさんの自己紹介から始めました。

自己紹介が終わるころには緊張も和らぎ、送迎時の問題点の話となり、山田理事長より質問に対して左記のような回答がありました。

**Q.** 利用者の中には、透析後の血圧低下に伴い自力での歩行が困難な為、自宅に着いても、一人で玄関まで帰るのが心配です

**A.** 着いた時点でご家族の協力があればよいのですが

**Q.** 四月から福祉有償運送の制度が出来ますが、どこまで介護ができるのか？

**A.** 現在、検討中です。四月までには、答えを出します。

**Q.** 糖尿病の方が送迎中に低血糖起こしたときの対処は？

**A.** 糖尿病の方は、各自が飴などを持参していますが、ボランティアさんの車内も飴玉を置いていただければ、万全ではないでしょうか

**Q.** 送迎時に車内でもし、血液

が漏れた場合、どうすればよいかが漏れた場合、どうすればよいかが、穿刺の部分をつまみ押さえてもらい、病院に引き返す。気分が悪くなった時も、病院にもどるのが最適です。

**Q.** シヤントとは、なんですか？

**A.** シヤントとは、透析治療に必要な血流確保の為、右腕か左腕の静脈と動脈を縫い合わせた、バイパスのことです。

山田理事長のシヤントに触れていただき、ビュンビュンと勢いよく流れる血流に驚いていました。シヤントの説明からなぜ透析をしなければいけないのか、との話になりました。腎臓の機能が不全になり、飲んだり食べたりした老廃物や毒素が、体内にたまりやすくなります。

健康な方は、二十四時間腎臓で老廃物を濾過し、尿となって排除しています。透析患者は、週三回四〜五時間かけて老廃物を洗っていると説明しました。

「さわやか」では新しいボランティアの方々に透析病院の見学も検討することになりました。

ミニ座談会でしたが、送迎時の様々な話しを聞く事が出来ました。次回は八幡地区のミニ座談会を予定しております。

今後も、ミニ座談会を続けて、ボランティアの送迎が円滑にできるように努力してまいります。